

# 千葉県在宅医療等研究会を 立ち上げました！

千葉県地方自治研究センター

連合千葉議員団会議及び千葉県地方自治研究センターでは、昨年の6月に人口減少社会における高齢者医療体制の強化の一環として、喫緊の課題である「在宅医療」を中心テーマとする共同研究事業（2014～2016年度）である「千葉県在宅医療等研究会」を立ち上げました。

これまで、千葉県地方自治研究センターでは、連合千葉の議員団会議との連携の下、「地域医療と少子化対策」（2013）や高齢者介護をめぐる講演会（2014）などの開催を通じて、地域医療や高齢者介護などの課題解決に向けた提言など積極的な発信を行ってきました。この度、こうした活動の成果を踏まえ、より安全・安心な地域社会の実現に向けた研究活動をめざし、3年にわたる共同研究をスタートさせることになりました。

この千葉県在宅医療等研究会は、千葉県議会議員の天野行雄さんを代表（主査）として、連合千葉議員団会議の皆さんのご参加の下、一般社団法人千葉県地方自治研究センターが委託を受ける形で、当センターの理事である宮崎伸光さん（法政大学法学部教授）のほか、当センターの専門人材が参加しています。

この千葉県在宅医療等研究会では、コアメンバーによる「全体推進会議」を置く一方、より多くの議員の参加をめざし、メインの「在宅医療分科会」のほか、防災など地域災害に対応した「防災分科会」、そして子育て支援による「地域活性化分科会」を設け、それぞれの分科会には学識経験をもつ研究者がアドバイザーとして参加しています。

まず、「在宅医療分科会」は、研究会の代表である天野行雄さんを座長に、研究者としては鏡諭さん（淑徳大学コミュニティ政策学科教授）、「防災分科会」には矢崎堅太郎さん（千葉県議会議員）を座長に、当センター理事長の宮崎伸光さん（法政大学法学部教授）、そして「地域活性化分科会」には網中肇さん（千葉県議会議員）を座長に、当センターの主任研究員である申龍徹さん（法政大学公共政策大学院客員教授）がそれぞれ担当することになりました。

これまでなかった3年間にわたる計画を持って取り組むこの在宅医療等研究会では、昨年9月には研究会や分科会の参加者全員によるキックオフ集会を開催し、研究計画の共有と進行スケジュール

## ◆千葉県在宅医療等研究会の全体推進会議の構成

主査	天野 行雄	（千葉県議会、在宅医療分科会座長）
副主査	岡部 順一	（君津市議会、在宅医療分科会）
同	宮崎 伸光	（当センター理事長、法政大学法学部教授、防災分科会研究者）
事務局長	滝本 明良	（連合千葉議員団会議副幹事長）
事務局次長	宮原 一夫	（当センター事務局長）（～2014.12、高橋秀雄副理事長が代行）
委員	矢崎堅太郎	（千葉県議会、防災分科会座長）
委員	網中 肇	（千葉県議会、地域活性化分科会座長）
委員	高橋 秀雄	（当センター副理事長、防災分科会事務局）
委員	佐藤 晴邦	（当センター副理事長、在宅医療分科会事務局）
委員	鏡 諭	（淑徳大学コミュニティ政策学科教授、在宅医療分科会研究者）
委員	申 龍徹	（当センター主任研究員、法政大学大学院客員教授、地域活性化分科会研究者）

ルなどの確認を行いました。

また、今年2月には、在宅医療活動において全国的に知名度の高い秋山正子さん（NPO法人白十字ボランティアの会会長・東京女子大学非常勤講師）や千葉県医師会副会長の土橋正彦さんらを招いた講演会・シンポジウムを開催する一方、実態調査などを踏まえ、千葉県の在宅医療問題についての積極的な提言などに取り組み予定でいます。

研究会における具体的な研究計画として、まず「在宅医療分科会」では、講演会やシンポジウムなどの開催のほか、千葉県内の54の市町村に対し、在宅医療の現状と課題についてのアンケート調査の実施や自治体への実態調査などを踏まえ、2016年の秋により充実した在宅医療のあり方についての提言を行う予定でいます。

#### ◆在宅医療分科会の構成

天野 行雄（座長・千葉県議会）・岡部 順一（君津市議会）・湯浅 止子（市川市議会）・帯包 文雄（習志野市議会）・油田 清（成田市議会）・白坂 英義（木更津市議会）・広瀬 義積（四街道市議会）・段木 和彦（千葉市議会）・田畑 直子（千葉市議会）・鈴木 陽介（四街道市議会）・石原 義則（市川市議会）・三瓶 輝枝（千葉市議会）・石井 宏子（千葉県議会）、鏡論（研究者・淑徳大学コミュニティ政策学科教授）

3・11以降の地域防災への関心の高まりを受け、震災や自然災害などへの対策を考える「防災分科会」では、高齢化する地域社会の実情を踏まえながら、近年において地域課題として浮上してきた空き家問題にも目を配り、安全・安心の地域防災のあり方を模索する予定である。調査研究では、建前の計画論ではなく、担い手の不足などより地域の実情を反映した形での地域防災のあり方を検討し、提言することになっています。

#### ◆防災分科会の構成

矢崎 堅太郎（座長・千葉県議会）・佐々木 久



昭（千葉市議会）・湯浅 和子（千葉県議会）・捧仁滋（市原市議会）・石原 義雄（野田市議会）・早川 真（我孫子市議会）・川島 邦彦（酒々井町議会）・宮崎 伸光（研究者、当センター理事長・法政大学法学部教授）

他方、人口減少社会の処方箋として注目を集めている子ども・子育て支援の強化に着目し、子育て支援による地域活性化をメインテーマとする「地域活性化分科会」では、千葉県内の市町村における子育て支援策の現状と課題を比較分析するとともに、自治体間の格差の問題、同一自治体内における格差などを複数の自治体への現地調査を通じて、より充実した子育て支援策のあり方を提案する予定でいます。

#### ◆地域活性化分科会の構成

網中 肇（座長・千葉県議会）・斉藤 誠（船橋市議会）・伊藤 隆司（銚子市議会）・横堀 喜一郎（千葉県議会）・宮間 文夫（大網白里市議会）・鴨下 四十八（君津市議会）・印南 宏（我孫子市議会）・申 龍徹（研究者、当センター主任研究員・法政大学大学院客員教授）

千葉県在宅医療等研究会での議論内容は、当センターのホームページ・講演会・シンポジウムの開催のほか、2016年の秋には実践的な提言を含めた報告書の刊行を通じて、広く公開される予定です。皆様のご関心とご声援をよろしくお願いいたします。